

## 令和元年度 共同利用採択一覧【地震・火山噴火の解明と予測に関する研究】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	研究課題	採択額 (千円)
						共同研究 費・旅費
1	2019-Y-地震 (現象解明)1	伊藤 高敏	東北大学・流体科学 研究所	新規	南アフリカ大深度金鉱山直下で発生したM5.5地震震源域の力学的・物質科学的解明	280
2	2019-Y-地震 (中短期予測) 1	児玉 哲哉	宇宙航空研究開発 機構・研究開発部門 第一研究ユニット	新規	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型衛星のブレッドボードモデル及びエンジニアリングモデルの製作	750
3	2019-Y-地震 (中短期予測) 2	織原 義明	東海大学・海洋研究 所	新規	行政等が所有する宏観異常現象に関わるデータを用いた地震発生の確率予測	595
4	2019-Y-地震 (中短期予測) 3	鴨川 仁	静岡県立大学・グ ローバル地域セン ター	新規	地震先行VLF帯電磁波強度減少の発生メカニズムの解明	680
5	2019-Y-火山1	望月 伸竜	熊本大学・大学院先 導機構	新規	古地磁気方位を利用した火山層序の高精度化	686
6	2019-Y-火山2	後藤 芳彦	室蘭工業大学	新規	カルデラ・リサージェンスモデルに基づく北海道屈斜路カルデラの大規模噴火予測	510
7	2019-Y-火山3	佐藤 鋭一	大阪府立大学・高等 教育推進機構	新規	玄武岩質およびデイサイト質マグマの噴火準備過程の高精度解明	353
8	2019-Y-火山4	和田 恵治	北海道教育大学・旭 川校地学研究室	新規	北海道摩周火山の噴火履歴とマグマ供給系の変遷	282
9	2019-Y-火山5	大場 武	東海大学・理学部	新規	マグマ起源物質の地球化学的モニタリングによる火山性流体挙動解明および火山活動評価	840
10	2019-Y-火山6	齋藤 武士	信州大学・学術研究 院理学系	新規	火山ガス観測による焼岳火山の活動評価とガス輸送システムの解明	766
11	2019-Y-火山7	鹿児島 涉悟	東京大学・大気海洋 研究所	新規	北海道摩周周辺における火山熱水活動の地球化学的調査	210
12	2019-Y-火山8	知北 和久	北海道大学・大学院 理学研究院	新規	八幡平火山～秋田・駒ヶ岳の熱水流動系が周辺水域に与える影響評価: 広域的火山活動と田沢湖関連水域との関係	230

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	研究課題	採択額 (千円)
						共同研究 費・旅費
13	2019-Y-火山9	伴 雅雄	山形大学・理学部	新規	蔵王山、過去約800年間の活動の噴火 推移の類型化	304
14	2019-Y-災害 誘因評価・即 時予測1	地引 泰人	東北大学・大学院理 学研究科	新規	2018年1月の草津白根火山の噴火に おける緊急時の災害情報伝達に関する 研究	453
15	2019-Y-史料・ 考古1	橋本 雄太	国立歴史民俗博物 館	新規	歴史災害研究のオープンサイエンス化 に向けた検討	960
16	2019-Y-史料・ 考古2	石辺 岳男	地震予知総合研究 振興会・地震調査研 究センター	新規	有感地震記述ならびに震度の距離減 衰式に基づく地震活動解析	402
合 計						8,301

令和元年度 共同利用採択一覧【特定共同研究(A)(A-01)】

No.	課題番号	研究 代表者名	代表者名	所属機関	研究課題	旅費 採択額 (千円)
1	2019-A-01 (ERI_01)	加納 靖之	加納 靖之	東京大学・地震研究所	歴史地震史料を活用した地震学的解析	176
2	2019-A-01 (ERI_12)	蔵下 英司	蔵下 英司	東京大学・地震研究所	スロー地震モニタリングに基づく南海トラフ域の地震発生可能性評価手法に関する研究	219

## 令和2年度公募要領(抜粋)

### (5) 地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究:

「地震火山災害軽減研究」の「III. 計画の実施内容」に記載されている研究項目の内容またはそれらのための技術開発、データベース開発等に関する研究で、付表 A-01 に無い新たな研究課題を公募するものです。

**対象研究項目:**「III. 計画の実施内容」に記載されている5つの項目のうち、「1. 地震・火山現象の解明のための研究」、「2. 地震・火山噴火の予測のための研究」、「4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究」、「5. 研究を推進するための体制の整備」の4項目に関する研究が本公募の対象となります。項目「3. 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究」の内容に関する公募研究の公募は、本研究所と京都大学防災研究所が共同で実施する「拠点間連携共同研究」として別に公募を行う予定です。

**審査の重点:**提出書類を基に審査を行い、採否を決定します。採択にあたっては対象研究項目との関連性と内容の新規性を重視します。特に、重点的な研究であるとして掲げている「2. (1)地震発生の新たな長期予測」、「2. (2)地殻活動モニタリングに基づく地震発生予測」、「2. (5)火山活動推移モデルの構築による火山噴火予測」および「5. (2)分野横断で取り組む総合研究を推進する体制(ア. 南海トラフ沿いの巨大地震、イ. 首都直下地震、ウ. 千島海溝沿いの巨大地震、エ. 桜島大規模火山噴火、オ. 高リスク小規模火山噴火)」に関連の深い研究課題を優先します。

**研究期間:**研究期間は1年ですが、次年度以降においては年度ごとに申請し、審議審査を受けた上で最長3年まで継続が可能です。

**研究費:**1課題当たりの研究費の上限を1年につき100万円とし、費目は旅費、共同研究費(消耗品・役員・単純労務謝金等)とします。

**申請書記入上の注意点:**申請書に対応する研究項目を記載してください(例:1.(5)ア. プレート境界地震と海洋プレート内部の地震)。その際、「研究の目的と意義欄」には、研究項目との関連が明確にわかるように記入してください。

地震・火山噴火予知研究協議会の審査に基づき、本研究所の共同利用委員会が採否を決定します。採択された課題については、地震火山噴火予知研究推進センターの教員が所内担当教員となります。研究代表者は申請書(様式 Y-1)を提出してください。